

静岡県月例経済報告

(平成29年9月号)

……平成29年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 497

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成29年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成29年7月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつある。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

需要面

◎個人消費は、緩やかに持ち直している。

大型小売店販売額(7月)は、百貨店が4か月ぶり、スーパーが3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(7月)は、家電大型専門店が2か月ぶり、コンビニエンスストアが13か月連続、ドラッグストアが5か月連続、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(7月)は、乗用車が12か月連続、軽自動車が5か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも9か月連続で前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(7月)は、持家が4か月ぶり、貸家が2か月ぶり、分譲住宅が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(7月)は、8か月ぶりに前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成29年7月3日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(7月)は、4か月連続で前年実績を上回った。

◎輸出は、持ち直している。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額（7月）は、原動機が4か月ぶり、エアコンが3か月ぶり、自動車の部分品が3か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車、二輪自動車類が7か月連続、科学光学機器が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（7月）は、木材、原動機が前年実績を下回ったものの、パルプや自動車の部分品などで前年実績を上回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,026億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数（6月）は、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が3か月ぶり、食料品・たばこが5か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が2か月連続、輸送機械が7か月連続、化学が6か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも6か月連続で前年水準を上回った。また、3か月に前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（6月）は、総合では13か月に前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（7月）は1.57倍で、前月と同水準だった。また、42か月連続で1倍を上回った。なお、5か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（7月）は、48か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（6月）は、前年を上回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（7月）は、前年同月比2.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（7月）は、前年同月比15.9%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。

企業倒産（8月）は、件数は21件で前年同月比10.5%増と、前年実績を上回った。

負債総額は同18.6%減と、前年実績を下回った。

〈県の取組〉「越境ECセミナー」を開催します

中国からのインバウンド消費が頭打ちになる一方で、中国を中心に越境EC市場は今後さらなる拡大が見込まれています。本セミナーでは、中国を中心に越境ECの最新動向を解説するとともに、越境ECに取り組む上での基礎的な知識を学びます。また、静岡県が県産品の販促支援を行っている中国越境ECサイト（銀聯在線商城※）も紹介します。

なお、セミナー終了後、同サイトへの出品希望者への個別相談会も開催します。

○日 時：2017年10月12日（木）14時00分～16時00分（受付開始13時30分）

○場 所：レイアップ御幸町ビル（静岡市葵区御幸町11-8）6階6-C会議室
JR静岡駅から徒歩3分

○主 催：静岡県

○共 催：ジェトロ静岡、ジェトロ浜松、（公社）静岡県国際経済振興会（予定）

○プログラム:

(1) 講演：『越境ECの基礎知識～中国向け越境EC動向を中心として～』（仮）

講師：ジェトロものづくり産業部 生活関連産業課 課長代理 草場 歩 氏

(2) 静岡県が出品支援する中国越境ECサイト（銀聯在線商城）の紹介

講師：株式会社China Commerce 代表取締役社長 原田 昌紀 氏

セミナー終了後、銀聯在線商城への出品希望者への個別相談会を開催します。

（30分×2社：先着順）

○参加費：無料

○定 員：50人（先着順）

○申込方法：申込書に必要事項を記載の上、問合わせ先に送付

〈申込は下記URLから〉

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-530/sannkoku/>

○申込締切：2017年10月11日（水）

○問合わせ先：静岡県経済産業部 企業立地推進課

電話 054-221-2439

FAX 054-221-3216

E-mail: kusuishin@pref.shizuoka.lg.jp



※ 銀聯在線商城とは

中国最大のキャッシュカード兼デビットカードである銀聯カードを発行する中国銀聯が運営するECサイト。静岡県は、同サイト内の日本製品を専門に取り扱う「日本館」内に県産品の販促ページ「静岡館」を設けて、県産品の中国での販路開拓を支援しています。

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

7月 = 35,877百万円

*前年同月比： 0.4%減

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

7月の大型小売店販売額は35,877百万円で、前年同月比0.4%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比1.7%減)が4か月ぶり、スーパー(同0.1%減)が3か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、衣料品(前年同月比1.9%減)、家庭用品(同1.9%減)がいずれも8か月連続、身の回り品(同0.2%減)が5か月ぶり、飲食料品(同0.7%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.5%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	42,002	36,340	30,575	33,793	33,040	34,010	33,274	35,877
前年同月比(%)	▲0.9	▲0.3	▲3.1	▲0.9	0.5	▲0.3	0.1	▲0.4
うち百貨店(%)	▲0.7	0.1	▲3.9	▲0.5	1.9	4.0	2.5	▲1.7
スーパー(%)	▲0.9	▲0.4	▲2.9	▲1.0	0.1	▲1.3	▲0.5	▲0.1
(参考1)全国前年同月比(%)	▲1.3	▲1.1	▲2.7	▲0.8	1.1	▲0.6	0.2	▲0.2
うち百貨店(%)	▲2.0	▲1.2	▲1.8	▲0.7	1.0	0.1	1.5	▲1.3
スーパー(%)	▲0.9	▲1.1	▲3.1	▲0.9	1.1	▲0.9	▲0.4	0.4
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲1.9	▲1.9	▲4.7	▲1.7	0.3	▲0.2	▲0.2	0.5

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	▲2.6	▲1.2	▲6.9	▲5.8	▲1.3	▲1.8	▲3.3	▲1.9
うち紳士服・洋品	1.6	2.9	▲7.0	▲13.6	▲7.1	▲4.7	▲4.6	▲1.4
婦人・子供服・洋品	▲3.9	▲2.5	▲6.8	▲3.9	1.1	▲0.7	▲2.2	▲2.7
身の回り品	0.1	0.2	▲5.4	0.8	2.8	0.7	0.3	▲0.2
飲食料品	0.2	0.1	▲2.2	▲1.0	0.7	▲0.1	0.3	▲0.7
家庭用品	▲5.0	▲4.3	▲6.7	▲7.1	▲3.6	▲6.1	▲2.6	▲1.9
うち家庭用電気機械器具	▲7.4	▲6.0	▲8.6	▲20.2	▲12.3	▲21.4	▲10.5	▲2.5

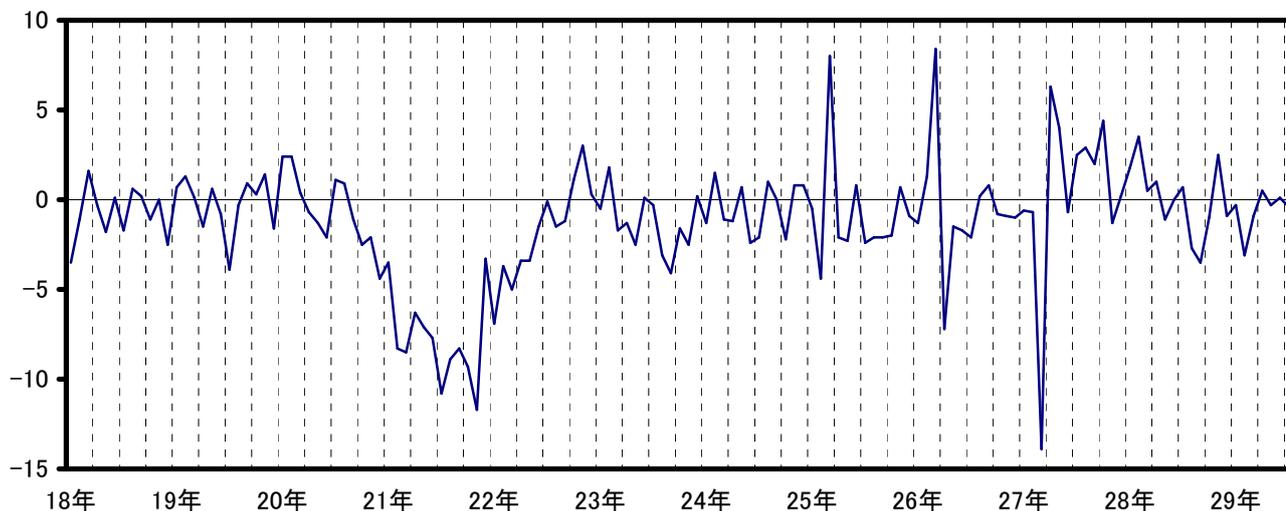
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

7月 = 6,928百万円

*前年同月比： 1.8%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

7月の県内3百貨店の販売額は6,928百万円で、前年同月比 1.8%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

品目別にみると、身の回り品（前年同月比 0.5%増）が5か月連続、雑貨（同 4.6%増）が8か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 4.5%減）が2か月連続、家庭用品（同 7.4%減）が7か月連続、食料品（同 1.8%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額（百万円）	8,966	6,985	5,327	6,798	5,838	6,015	6,010	6,928
前年同月比（%）	▲ 0.7	0.2	▲ 3.8	▲ 0.4	2.0	3.9	2.6	▲ 1.8
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 0.9	0.7	0.0	1.4	▲ 1.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

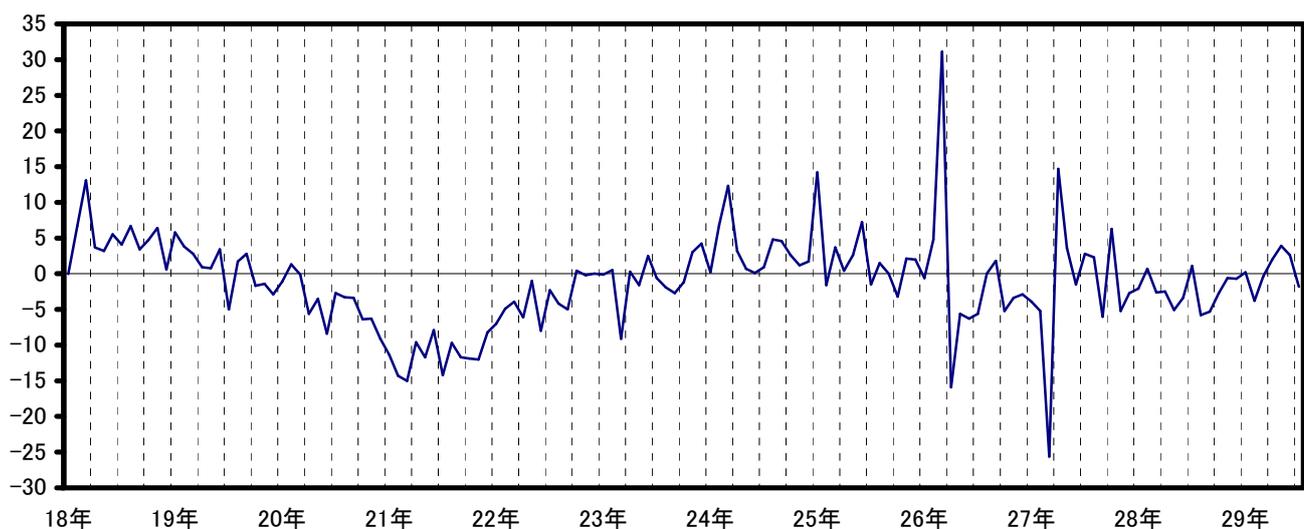
	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	▲ 3.8	▲ 2.5	▲ 7.3	▲ 6.8	1.5	0.4	▲ 1.6	▲ 4.5
うち紳士服・洋品	▲ 5.5	▲ 2.4	▲ 5.3	▲ 14.6	0.4	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 3.5
婦人服・洋品	▲ 3.3	▲ 2.0	▲ 8.3	▲ 5.5	1.8	1.8	▲ 0.9	▲ 5.7
子供服・洋品	▲ 4.7	▲ 7.3	▲ 3.5	▲ 7.7	▲ 0.2	▲ 0.6	11.1	▲ 4.3
身の回り品	5.9	6.3	▲ 2.1	3.0	4.4	4.1	1.2	0.5
家庭用品	0.8	▲ 6.5	▲ 7.5	▲ 8.7	▲ 1.5	▲ 2.7	▲ 2.8	▲ 7.4
食料品	▲ 0.3	▲ 4.8	▲ 3.0	0.4	▲ 2.4	6.1	0.6	▲ 1.8
雑貨	1.6	13.2	2.8	14.8	10.3	10.5	17.0	4.6
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 18.0	24.1	▲ 9.3	13.6	11.7	24.4	23.3	9.1

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

7月 = 74,952百万円

*前年同月比： 3.6%増

(県内92家電大型専門店、1,758コンビニエンスストア、457ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

7月の専門量販店等販売額は74,952百万円で、前年同月比 3.6%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 6.4%増）が2か月ぶり、コンビニエンスストア（同 2.8%増）が13か月連続、ドラッグストア（同 5.2%増）が5か月連続、ホームセンター（同 0.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	73,732	63,347	57,543	67,348	64,824	67,888	64,855	74,952
前年同月比(%)	2.0	2.7	▲0.1	3.2	4.0	3.7	2.1	3.6
うち 家電大型専門店(%)	▲1.9	▲2.0	▲0.4	2.1	6.0	2.5	▲3.4	6.4
コンビニエンスストア(%)	3.8	3.5	0.7	3.4	2.9	2.9	2.4	2.8
ドラッグストア(%)	4.6	4.4	0.0	5.3	7.0	6.5	5.6	5.2
ホームセンター(%)	▲3.8	2.0	▲2.9	▲0.8	▲0.2	1.7	▲1.6	0.1
(参考)全国前年同月比(%)	2.3	2.7	0.4	3.1	3.9	3.1	2.3	4.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

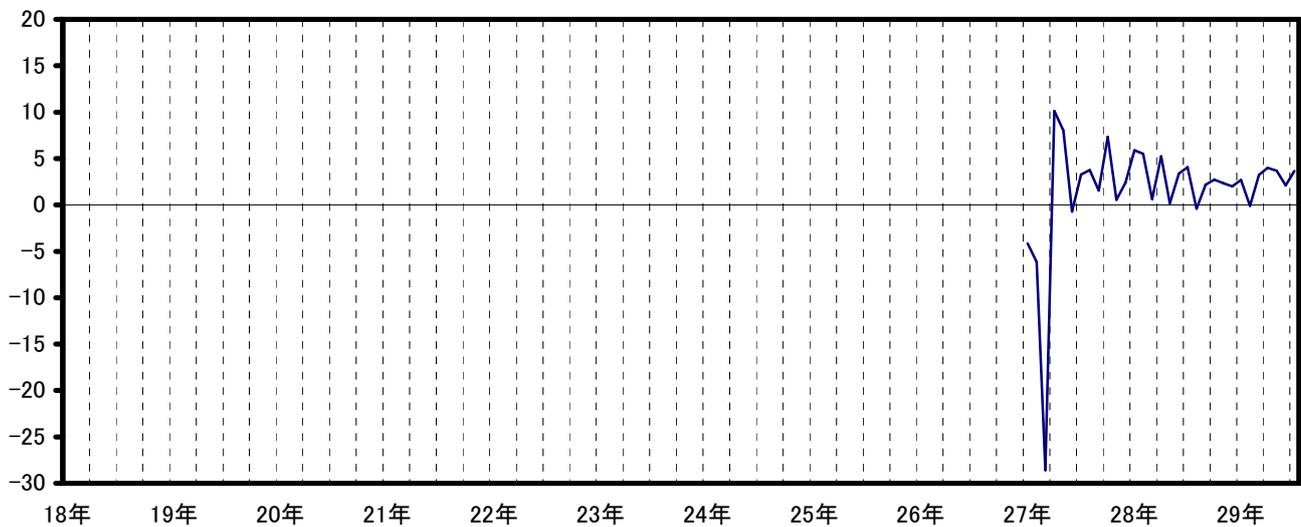
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

7月 = 14,281台

*前年同月比： 4.8%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は14,281台(前年同月比 4.8%増)となり、9か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 1.7%増)が12か月連続、軽自動車(同 9.2%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録台数(台)	13,544	14,916	17,905	24,398	11,763	12,394	16,106	14,281
前年同月比(%)	2.7	1.1	4.0	10.7	12.8	10.7	13.4	4.8
(参考)全国前年同月比(%)	8.1	4.4	8.2	9.6	10.4	13.4	15.1	2.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

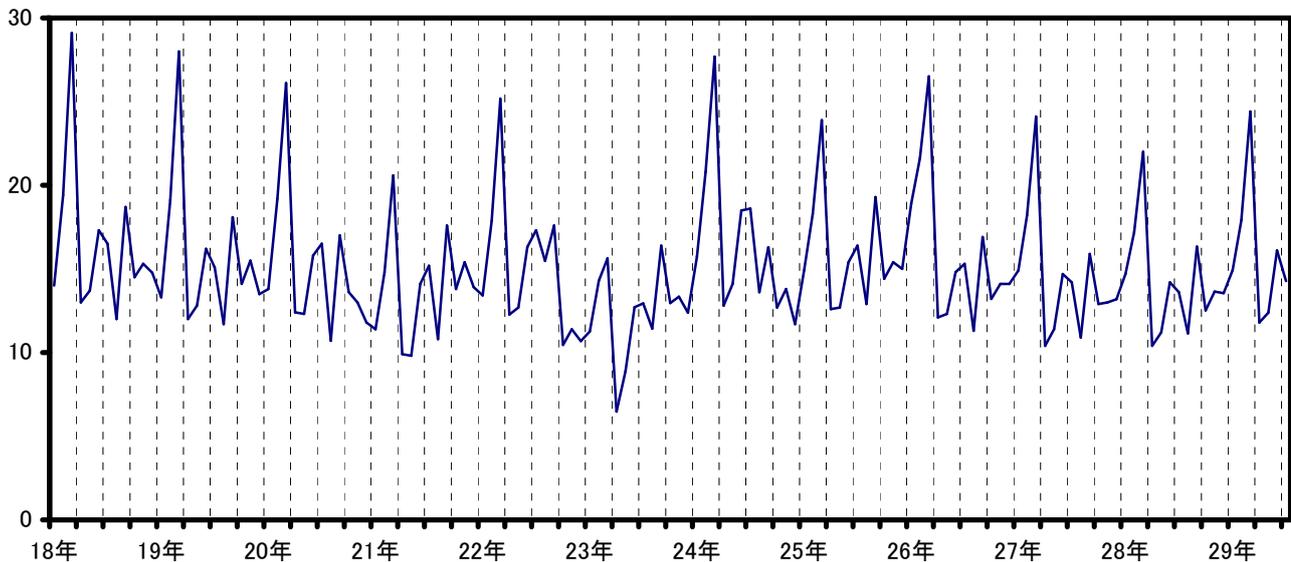
	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全乗用車	2.7	1.1	4.0	10.7	12.8	10.7	13.4	4.8
乗用車	8.7	9.9	10.5	17.5	7.9	7.1	14.7	1.7
軽自動車	▲4.8	▲9.1	▲3.3	2.3	19.5	15.8	11.5	9.2

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

7月 = 1,838 戸

*前年同月比： 22.0%減

<概況>

7月の新設住宅着工戸数は1,838戸で、前年同月比 22.0%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 17.4%減）が4か月ぶり、貸家（同 36.1%減）が2か月ぶり、分譲住宅（同 9.3%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

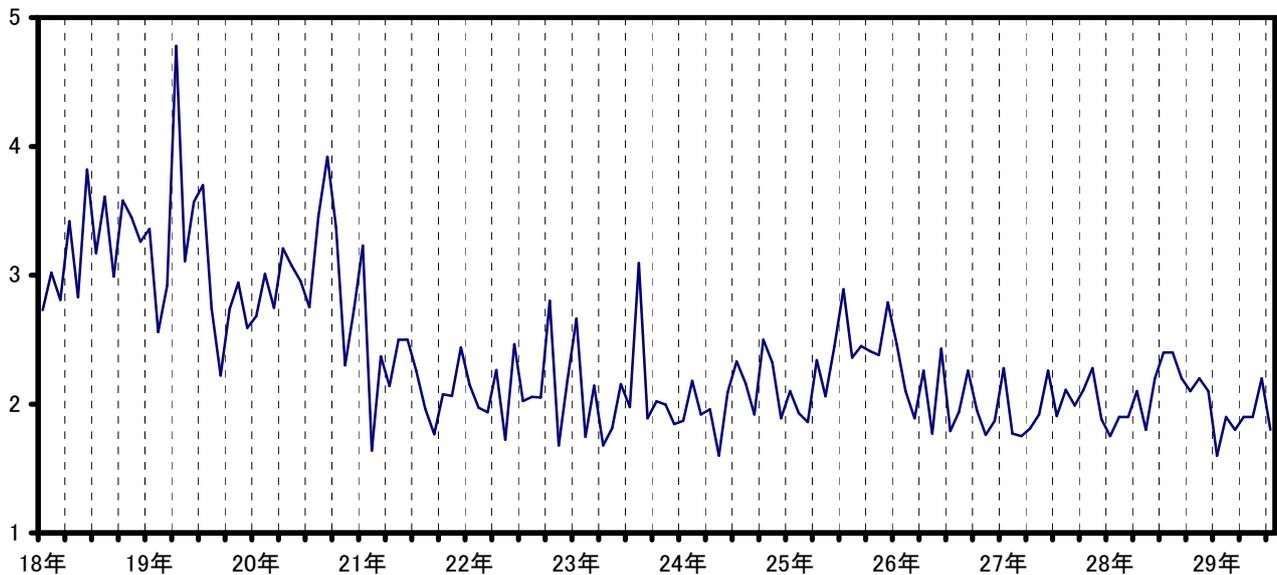
	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
戸数 (戸)	2,073	1,645	1,931	1,806	1,883	1,937	2,208	1,838
前年同月比 (%)	10.1	▲ 6.2	1.9	▲ 4.2	▲ 10.2	6.6	0.6	▲ 22.0
うち持家 (%)	7.3	▲ 2.4	28.5	▲ 13.3	3.4	13.0	8.0	▲ 17.4
貸家 (%)	28.0	▲ 24.7	▲ 5.7	▲ 27.6	▲ 15.6	▲ 4.0	8.5	▲ 36.1
分譲住宅 (%)	▲ 1.3	32.0	▲ 38.9	94.0	▲ 32.8	13.3	▲ 17.9	▲ 9.3
(参考)全国前年同月比 (%)	3.9	12.8	▲ 2.6	0.2	1.9	▲ 0.3	1.7	▲ 2.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

7月 = 27,049百万円

*前年同月比： 3.4%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

7月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は27,049百万円で、前年同月比3.4%減となり、8か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は745件で、前年同月比8.9%減となり、6か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
金額(百万円)	16,623	10,454	12,463	16,089	55,088	20,047	32,699	27,049
前年同月比(%)	8.2	16.6	91.7	7.2	9.3	4.9	43.8	▲3.4
年度累計前年同月比(%)	4.2	4.6	6.8	6.9	9.3	8.1	16.9	12.2
件数(件)	772	434	321	235	495	467	721	745
前年同月比(%)	▲4.1	▲1.6	101.9	40.7	3.6	18.8	14.3	▲8.9
年度累計前年同月比(%)	0.6	0.4	2.7	3.5	3.6	10.4	12.1	4.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

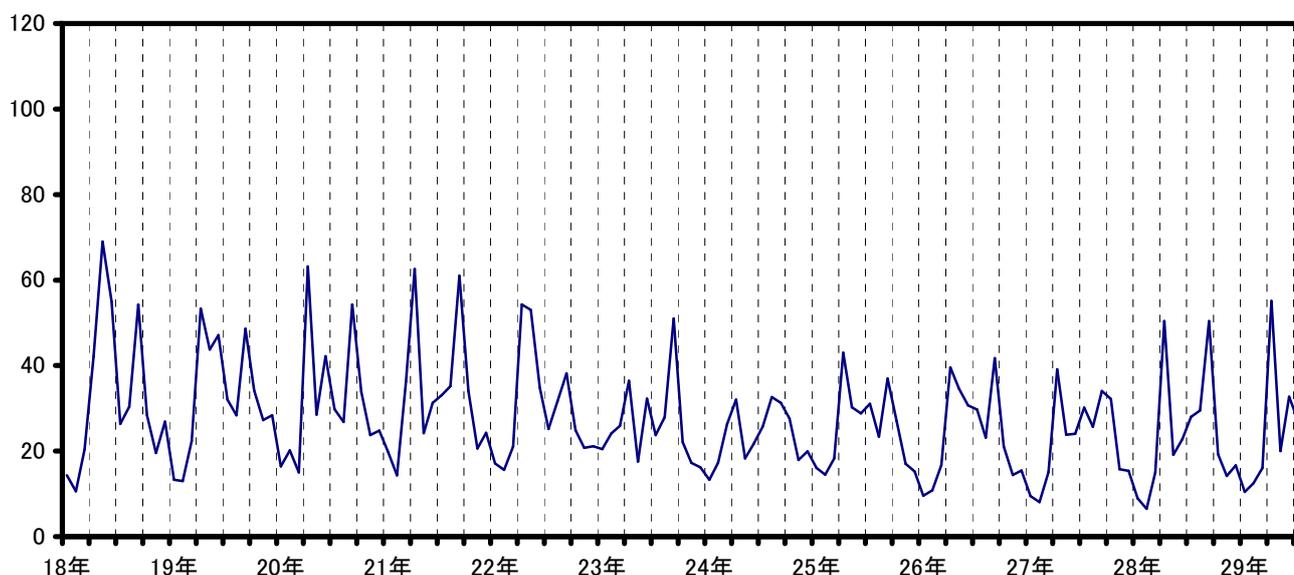
	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国	54.0	110.8	34.6	▲0.7	▲38.2	53.6	135.1	▲3.0
独立行政法人等	649.2	72.5	17.1	▲92.2	208.8	▲71.2	98.0	▲92.5
県	▲24.0	19.1	519.7	184.2	30.6	105.1	▲7.3	▲17.2
市町	12.7	▲23.0	7.3	7.9	▲17.8	5.8	38.0	▲0.6
地方公社	8.7	—	—	—	123.4	▲96.0	—	707.1
その他	▲0.3	197.5	▲21.3	50.9	▲74.8	▲107.0	17.9	46.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業、全産業では減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも減少した。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業(前年度比 23.2%増)で増加、非製造業(同 0.2%減)で減少し、全産業(同 12.6%増)では増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業(前年度比 17.6%増)、非製造業(同 2.6%増)、全産業(同 13.8%増)のいずれも増加の計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は117,369㎡で、前年同月比 8.3%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	(▲2.7) ▲0.5	(4.0) 12.6
	全国	(0.0) 0.4	(4.3) 2.9
製造業	県	(▲5.7) 0.1	(3.3) 23.2
	全国	(0.5) 2.6	(6.5) 10.7
非製造業	県	(1.0) ▲1.2	(5.0) ▲0.2
	全国	(▲0.2) ▲0.7	(3.1) ▲1.2

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	(▲2.3) ▲0.6	(5.6) 13.8
	全国	(▲0.8) 0.3	(3.3) 5.7
製造業	県	(▲3.1) ▲0.4	(6.3) 17.6
	全国	(▲0.8) 0.6	(3.2) 7.9
非製造業	県	(0.3) ▲1.3	(3.4) 2.6
	全国	(▲0.7) 0.0	(3.4) 3.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年6月調査)」

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	107,916	154,653	82,466	89,233	149,936	145,007	176,342	117,369
前年同月比（%）	24.3	7.6	▲0.6	▲42.2	66.6	115.2	77.4	8.3
(参考) 全国前年同月比（%）	5.4	21.9	8.1	▲12.5	19.3	▲11.0	2.7	18.0

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		29年3月	29年6月	29年9月 (予測)
全産業		12	12	7
	製造業	13	16	12
	非製造業	12	8	3
(参考) 全国・全産業		10	12	8

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年6月調査)」

5 輸出

7月 = 184,814百万円

*前年同月比： 15.0%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は184,814百万円で、前年同月比 15.0%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 0.4%減）が4か月ぶり、エアコン（同 1.3%減）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 13.1%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、自動車（同 230.6%増）が9か月連続、二輪自動車類（同 18.6%増）が7か月連続、科学光学機器（同 22.5%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 4.1%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 15.4%増）が9か月連続、EU向け（同 42.9%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出総額(百万円)	188,982	149,185	182,936	197,411	191,420	149,761	174,963	184,814
前年同月比(%)	5.3	3.9	8.3	10.1	14.6	7.4	12.1	15.0

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原動機	6.1	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 2.5	5.1	6.8	2.1	▲ 0.4
エアコン	▲ 12.1	4.3	6.8	15.8	▲ 5.9	14.4	7.4	▲ 1.3
自動車	65.0	66.5	196.7	135.7	139.7	44.1	83.6	230.6
自動車の部分品	10.2	12.0	10.0	0.9	10.0	▲ 8.7	▲ 2.6	▲ 13.1
二輪自動車類	▲ 0.8	3.0	6.2	5.0	26.9	30.4	18.9	18.6
科学光学機器	6.7	▲ 6.6	16.1	▲ 14.2	4.8	▲ 4.8	0.4	22.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	10.2	7.8	15.1	16.5	14.2	14.7	8.1	15.4
米国	13.3	▲ 8.4	▲ 14.6	▲ 0.1	0.2	3.2	0.0	▲ 4.1
EU	0.0	24.9	49.9	19.6	40.5	2.9	48.6	42.9

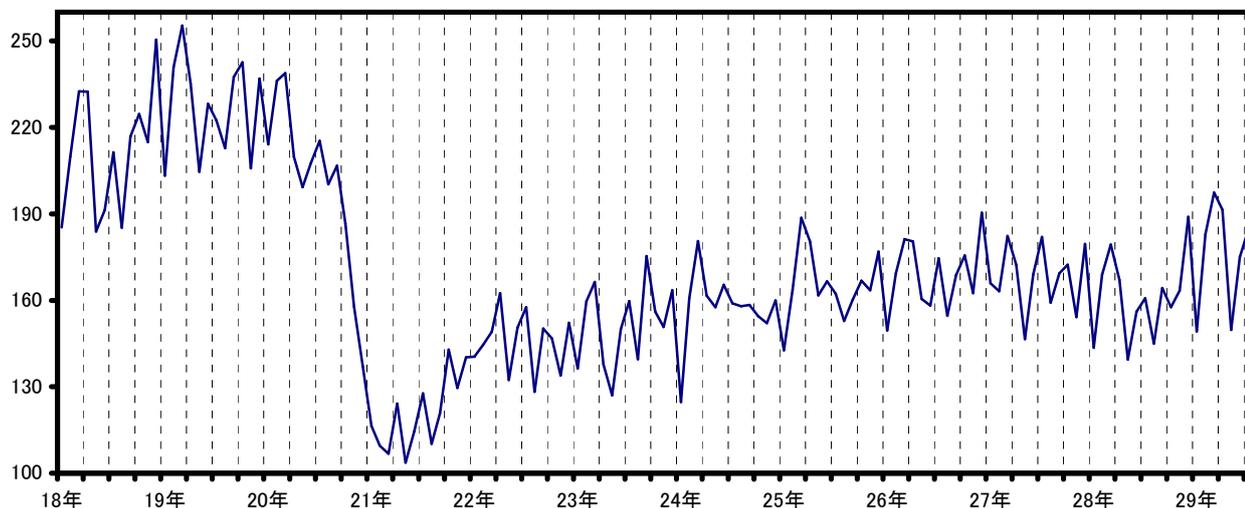
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

7月 = 82,166百万円

*前年同月比： 21.8%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は82,166百万円で、前年同月比 21.8%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 7.7%減）が2か月ぶり、原動機（同 29.6%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類（同 26.4%増）が2か月連続、パルプ（同 39.0%増）が6か月連続、紙類及び同製品（同 16.6%増）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 24.1%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 15.5%増）が5か月連続、米国から（同 35.8%増）が3か月ぶり、EUから（同 17.7%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸入総額(百万円)	77,184	84,538	71,963	90,662	78,666	80,301	83,543	82,166
前年同月比(%)	▲ 1.5	▲ 2.5	▲ 5.7	16.7	11.3	1.7	17.9	21.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚介類	—	▲ 4.9	3.7	20.2	8.6	▲ 31.2	69.1	26.4
木材	▲ 16.0	▲ 9.5	▲ 11.3	20.6	9.7	▲ 4.4	13.7	▲ 7.7
パルプ	▲ 6.7	▲ 11.1	5.6	28.8	21.3	55.2	5.5	39.0
紙類及び同製品	23.2	▲ 3.0	▲ 32.2	▲ 20.3	98.7	▲ 17.2	▲ 36.5	16.6
原動機	76.1	58.1	180.2	▲ 29.5	85.0	▲ 50.4	▲ 37.6	▲ 29.6
自動車の部分品	▲ 7.9	▲ 29.1	▲ 8.6	23.7	19.0	33.2	12.1	24.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

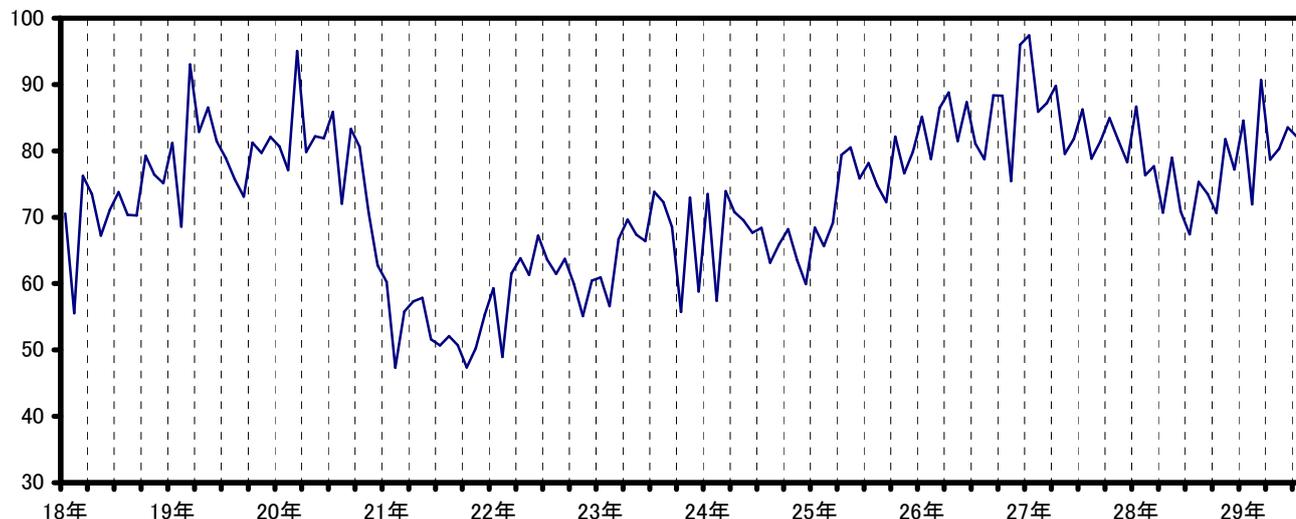
	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	4.4	▲ 0.3	▲ 14.5	13.4	4.0	10.6	23.8	15.5
米国	17.5	▲ 17.1	11.5	▲ 19.8	18.3	▲ 10.5	▲ 9.7	35.8
EU	▲ 10.4	▲ 12.6	38.5	9.7	35.7	18.7	31.1	17.7

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

6月 = 92.2

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.9%増

*前年同月比(原指数) : 3.7%増

<概況>

6月の鉱工業生産指数(総合)は92.2(季節調整済指数)で、前月比0.9%増となり、3か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.7%増と6か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.8%減)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同0.2%減)が3か月ぶり、食料品・たばこ(同3.2%減)が5か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同3.7%増)が2か月連続、輸送機械(同14.8%増)が7か月連続、化学(同4.3%増)が6か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	90.0	91.6	93.1	95.3	96.4	94.8	91.4	92.2
前月比(%)	2.4	1.8	1.6	2.4	1.2	▲1.7	▲3.6	0.9
前年同月比(%)	0.5	▲3.4	6.6	7.5	8.8	1.0	4.8	3.7
(参考)全国前年同月比(%)	4.6	3.0	3.2	4.8	3.3	5.7	6.8	4.9

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲5.9	3.1	▲3.0	▲2.1	▲7.7	▲13.8	4.6	▲7.8
電気機械工業	3.2	7.0	10.1	11.3	4.8	▲2.1	6.8	3.7
輸送機械工業	▲0.3	3.7	13.2	22.2	38.8	12.3	7.7	14.8
化学工業	10.8	▲22.8	8.1	4.2	1.1	2.8	11.9	4.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.7	▲3.0	▲1.8	▲2.4	▲0.4	1.9	3.4	▲0.2
食料品・たばこ工業	▲6.7	▲12.8	2.0	▲3.0	▲7.7	▲9.3	▲5.2	▲3.2

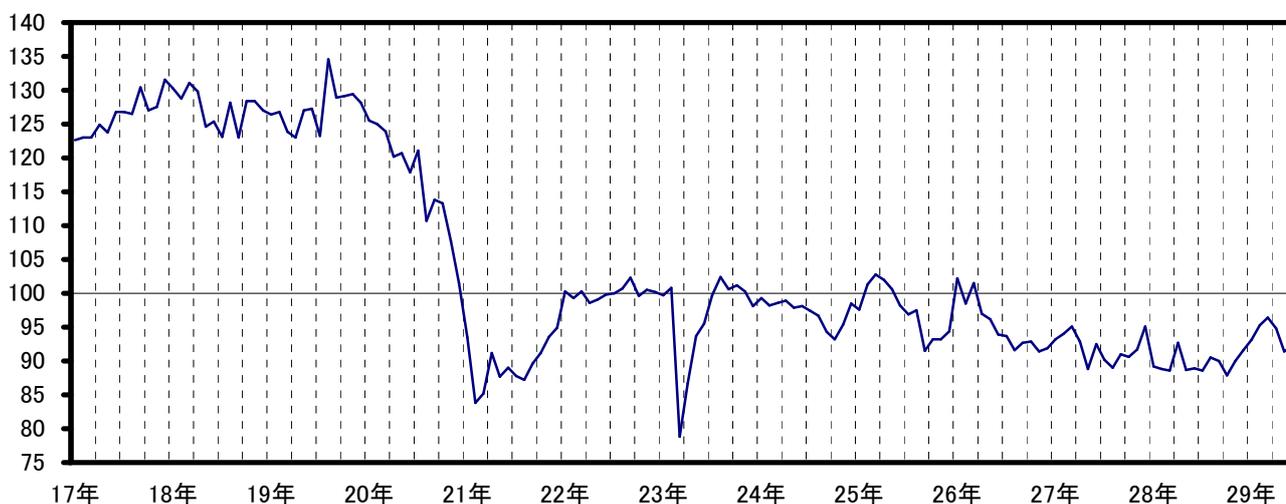
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

6月 = 118.2

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.5%増

*前年同月比(原指数) : 3.6%増

<概況>

6月の鋳工業在庫指数(総合)は118.2(季節調整済指数)で、前月比は3.5%増と4か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.6%増と13か月ぶりに前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比7.0%減)が3か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同7.2%増)が2か月連続、輸送機械(同14.9%増)が4か月連続、化学(同1.5%増)が10か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同0.6%増)、食料品・たばこ(同15.6%増)がいずれも3か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	109.1	106.1	112.4	119.4	118.2	116.7	114.2	118.2
前月比(%)	▲1.4	▲2.7	5.9	6.2	▲1.0	▲1.3	▲2.1	3.5
前年同月比(%)	▲9.9	▲13.9	▲4.4	▲2.2	▲2.7	▲0.8	▲0.6	3.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.8	▲5.0	▲4.3	▲3.3	▲3.9	▲1.1	▲1.2	▲3.1

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲6.9	▲2.4	16.0	8.6	0.2	▲1.2	3.0	7.2
電気機械工業	▲40.9	▲39.7	5.0	8.5	9.3	▲2.3	▲2.5	▲7.0
輸送機械工業	▲46.9	▲51.6	▲30.7	▲12.4	7.2	9.0	7.8	14.9
化学工業	▲4.2	▲12.6	▲8.9	▲11.9	▲9.8	▲4.6	▲5.4	1.5
パルプ・紙・紙加工品工業	0.5	▲1.4	▲2.7	▲0.4	0.0	3.0	1.0	0.6
食料品・たばこ工業	▲7.6	▲7.8	15.5	7.5	▲9.3	5.1	8.1	15.6

(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

7 月 = 1.57倍

*前月比（季節調整値）： 同水準

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

7月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.57倍となり、前月と同水準だった。また、5か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比8.1%増）は18か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比7.3%増）が18か月連続、製造業（同13.2%増）が21か月連続、情報通信業（同8.1%増）が2か月ぶり、運輸業・郵便業（同2.7%増）が9か月連続、卸売業・小売業（同10.0%増）が6か月ぶり、医療・福祉（同0.3%増）が11か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同11.5%増）が17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
県	1.41	1.43	1.42	1.47	1.51	1.54	1.57	1.57
全 国	1.43	1.43	1.43	1.45	1.48	1.49	1.51	1.52

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建 設 業	5.6	13.5	15.7	11.4	10.5	15.2	11.7	7.3
製 造 業	16.5	12.0	12.0	14.9	7.4	21.8	33.2	13.2
情 報 通 信 業	2.2	▲ 19.8	▲ 12.7	9.4	4.5	16.4	▲ 15.8	8.1
運 輸 業 ・ 郵 便 業	1.0	17.1	16.8	2.3	15.9	13.8	8.0	2.7
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 5.0	4.9	▲ 2.7	▲ 9.6	▲ 3.5	▲ 6.2	▲ 9.2	10.0
医 療 ・ 福 祉	7.2	9.4	5.1	10.9	1.8	16.1	14.7	0.3
サービス業（他に分類されないもの）	21.6	15.9	32.9	14.3	16.5	24.5	21.6	11.5
合 計	9.0	10.3	9.2	6.6	8.3	12.3	13.4	8.1

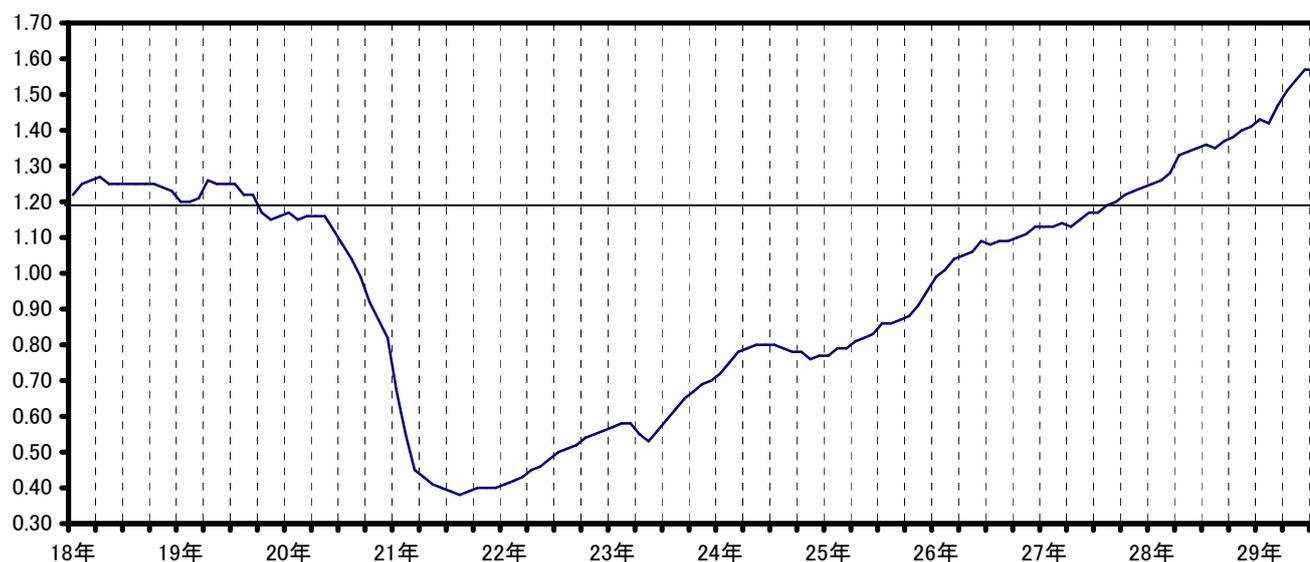
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

7月 = 11,093人

*前月比: 0.6%増

*前年同月比: 11.8%減

<概況>

7月の雇用保険受給者実人員は11,093人で、前月比は0.6%増と3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は11.8%減と48か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.8%で、前月と同水準だった。

静岡県(平成29年4~6月)の完全失業率は2.4%で、前期(29年1~3月)から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実人員(人)	10,924	10,725	10,163	10,036	9,531	10,897	11,025	11,093
前月比(%)	▲5.8	▲1.8	▲5.2	▲1.2	▲5.0	14.3	1.2	0.6
前年同月比(%)	▲11.3	▲14.4	▲15.6	▲14.0	▲14.2	▲8.8	▲11.9	▲11.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲9.3	▲8.6	▲9.5	▲7.7	▲8.5	▲3.7	▲7.8	▲6.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完全失業率(全国)(%)	3.1	3.0	2.8	2.8	2.8	3.1	2.8	2.8

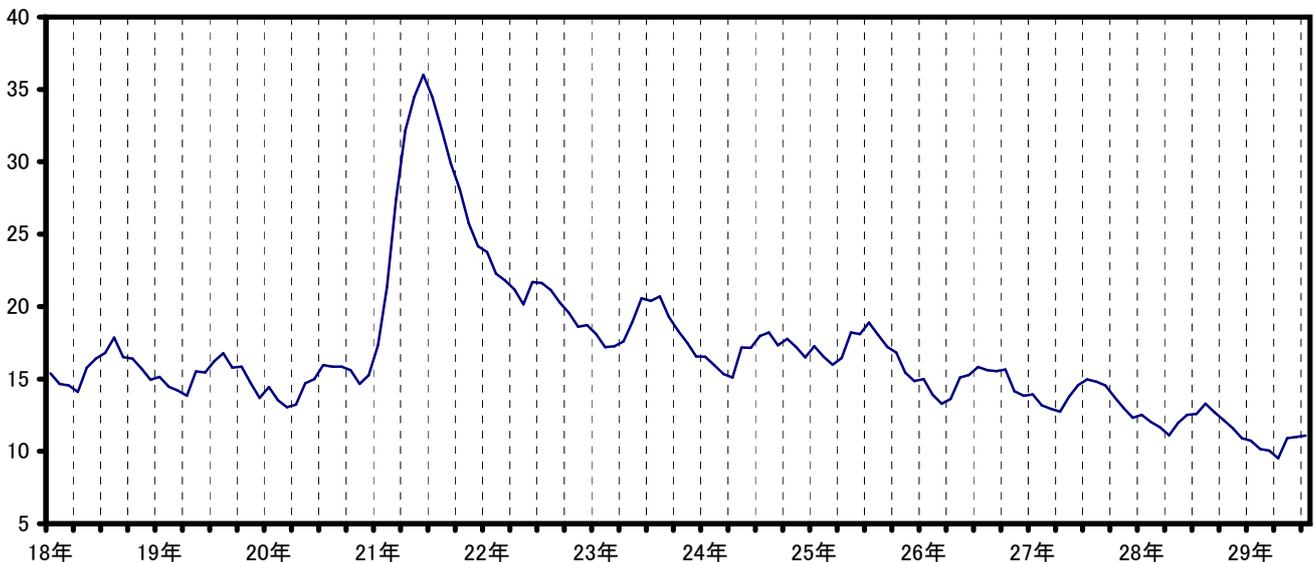
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

6月 = 105.5

*前月比(季節調整済指数): 0.8%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.3%増

<概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は105.5(季節調整済指数)で、前月比0.8%増となった。また、前年同月比(原指数)は1.3%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比4.6%減)が3か月連続、運輸業・郵便業(同3.8%減)、医療・福祉(同14.0%減)がいずれも4か月連続、その他のサービス業(同5.3%減)が7か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同5.2%増)が2か月連続、製造業(同7.6%増)が5か月連続、卸売業・小売業(同2.6%増)が12か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	101.3	99.8	99.0	103.2	102.0	103.6	104.7	105.5
前月比(%)	▲1.4	▲1.5	▲0.8	4.2	▲1.2	1.6	1.1	0.8
前年同月比(%)	▲1.4	▲0.7	▲1.4	0.7	2.1	0.0	0.0	1.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.5	▲2.2	▲0.2	0.6	▲0.9	▲0.9	0.6	▲1.8

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	▲5.1	▲14.7	▲19.4	▲14.4	▲10.6	▲22.3	19.5	5.2
製造業	▲5.9	2.6	▲0.2	4.8	13.2	5.0	8.4	7.6
情報通信業	▲8.4	▲6.1	▲1.1	0.1	1.2	▲4.2	▲1.2	▲4.6
運輸業・郵便業	▲6.9	▲6.5	5.1	1.7	▲1.6	▲2.8	▲1.7	▲3.8
卸売業・小売業	▲34.2	▲24.7	▲13.5	▲23.1	▲25.7	▲14.1	▲13.5	2.6
医療・福祉	▲23.5	7.0	3.4	14.4	▲8.0	▲10.1	▲3.0	▲14.0
その他のサービス業	11.8	▲6.3	▲27.9	▲23.6	▲10.5	▲26.9	▲22.5	▲5.3
調査産業計	▲1.4	▲0.7	▲1.4	0.7	2.1	0.0	0.0	1.3

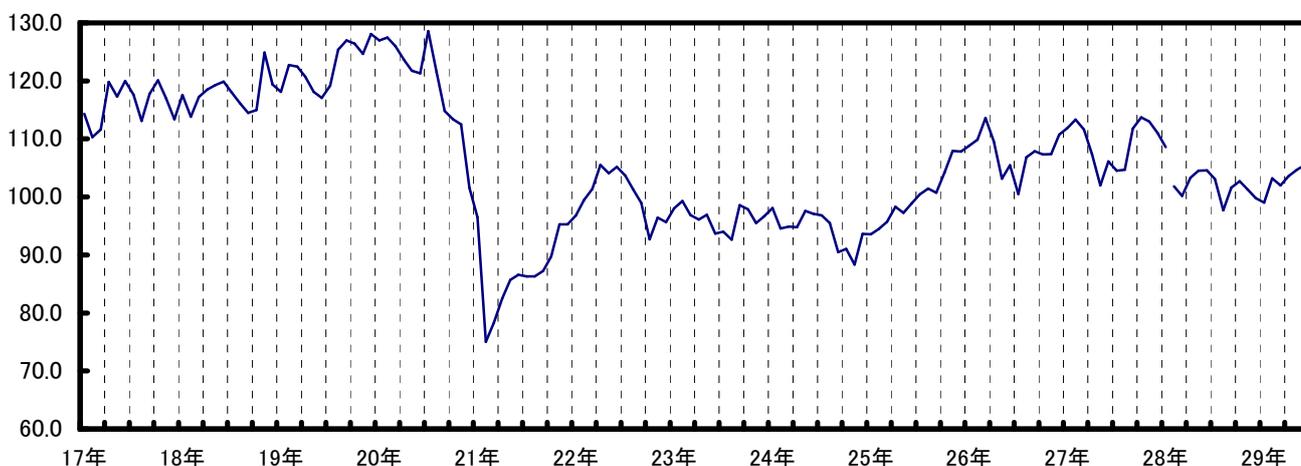
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(平成27年=100)

8 月 = 98.8

*前 月 比: 同水準

*前年同月比: 2.9%上昇

<概 況>

8月の国内企業物価指数は98.8となり、前月と同水準だった。また、前年同月比は2.9%の上昇となった。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業物価指数	97.7	98.0	98.2	98.4	98.4	98.5	98.8	98.8
前 月 比 (%)	0.6	0.3	0.2	0.2	0.0	0.1	0.3	0.0
前年同月比 (%)	0.5	1.1	1.4	2.1	2.1	2.2	2.6	2.9

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

7 月 = 139,248億円

*前 月 比: 同水準

*前年同月比: 2.4%増

<概 況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,248億円で、前月と同水準だった。また、前年同月比は2.4%の増加となった。

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出残高(億円)	139,099	137,805	137,857	139,752	138,500	138,440	139,225	139,248
前 月 比 (%)	1.3	▲ 0.9	0.0	1.4	▲ 0.9	0.0	0.6	0.0
前年同月比 (%)	1.3	1.3	1.6	1.2	2.0	2.1	2.3	2.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

7 月 = 2.120%

*前 月 差: 0.003ポイント減

*前年同月差: 0.035ポイント減

<概 況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.120%で、前月から0.003ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.035ポイントのマイナスとなった。

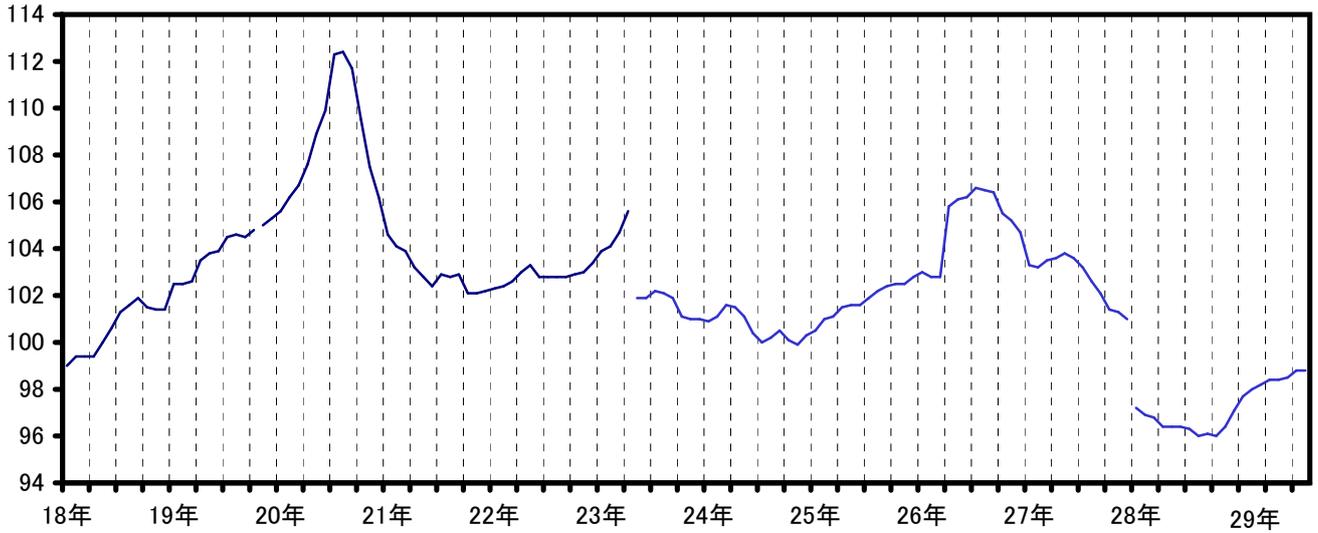
	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出約定金利(%)	2.129	2.134	2.138	2.128	2.133	2.131	2.123	2.120
前月差(ポイント)	▲ 0.017	0.005	0.004	▲ 0.010	0.005	▲ 0.002	▲ 0.008	▲ 0.003
前年同月差(ポイント)	▲ 0.021	▲ 0.025	▲ 0.026	▲ 0.017	▲ 0.023	▲ 0.021	▲ 0.030	▲ 0.035

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

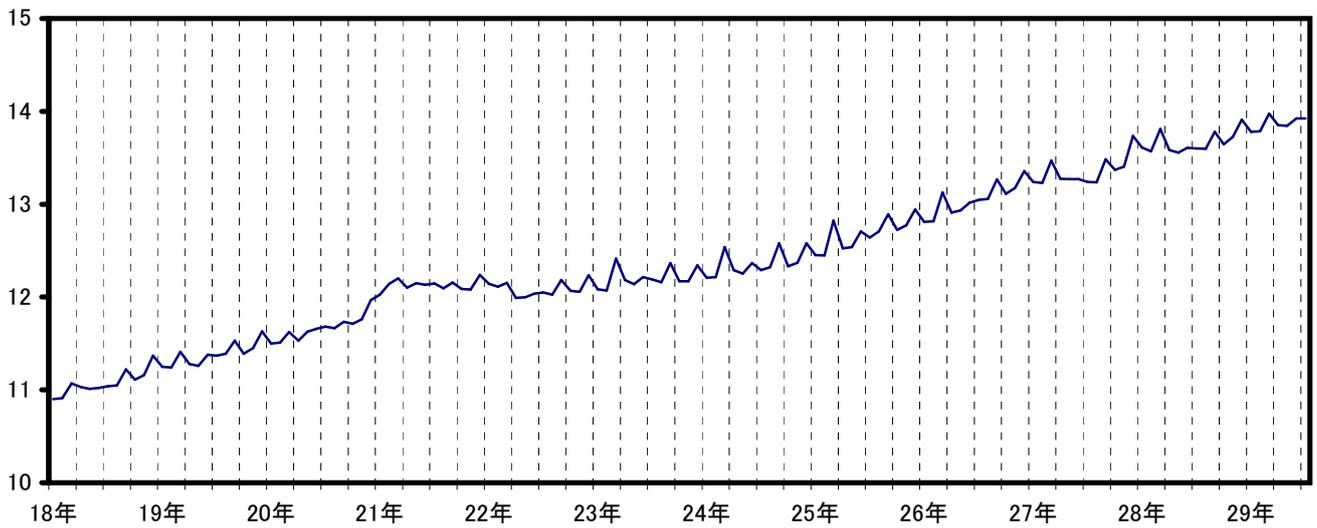
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



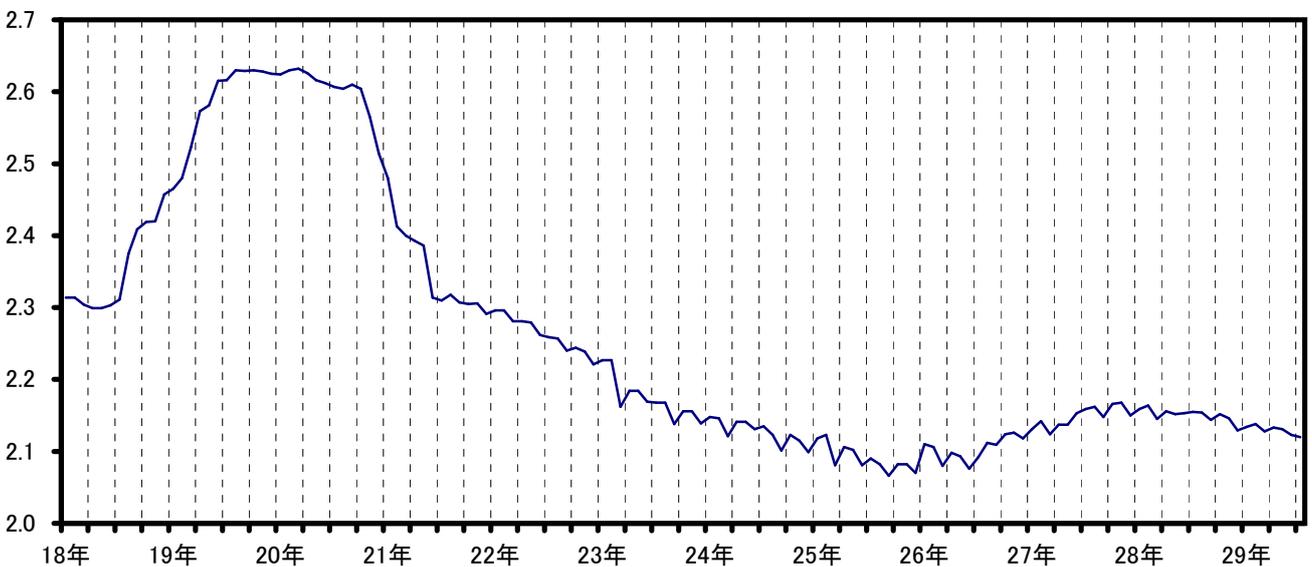
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**7月 = 17,411百万円**

*前年同月比： 15.9%減

<概況>

7月の保証承諾は、金額が17,411百万円（前年同月比 15.9%減）と4か月連続で前年実績を下回り、件数は1,738件（同 13.5%減）と28か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
保証金額（百万円）	24,335	14,049	18,177	26,040	11,692	14,148	19,274	17,411
前年同月比（%）	▲ 9.4	▲ 8.3	▲ 2.4	4.3	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 15.9
保証件数（件）	2,363	1,504	1,818	2,412	1,380	1,608	1,985	1,738
前年同月比（%）	▲ 10.7	▲ 11.2	▲ 10.4	▲ 8.0	▲ 13.7	▲ 12.4	▲ 14.6	▲ 13.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**8月 = 109.91円/ドル**

*前月差： 2.53円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 8.64円安

<概況>

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は109.91円で、前月と比べて2.53円の円高となり、2か月ぶりの円高となった。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
平均相場（円）	114.73	113.06	113.01	110.06	112.21	110.91	112.44	109.91
前月差（円）	▲ 1.22	▲ 1.67	▲ 0.05	▲ 2.95	2.15	▲ 1.30	1.53	▲ 2.53
前年同月差（円）	▲ 3.52	▲ 1.96	▲ 0.06	0.18	3.06	5.42	8.54	8.64

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****8月 = 21件**

*前年同月比： 10.5%増

<概況>

8月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は21件（前年同月比 10.5%増）と、前年実績を上回った。負債総額は1,679百万円（同 18.6%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が20件と全体の95.2%を占め、237か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

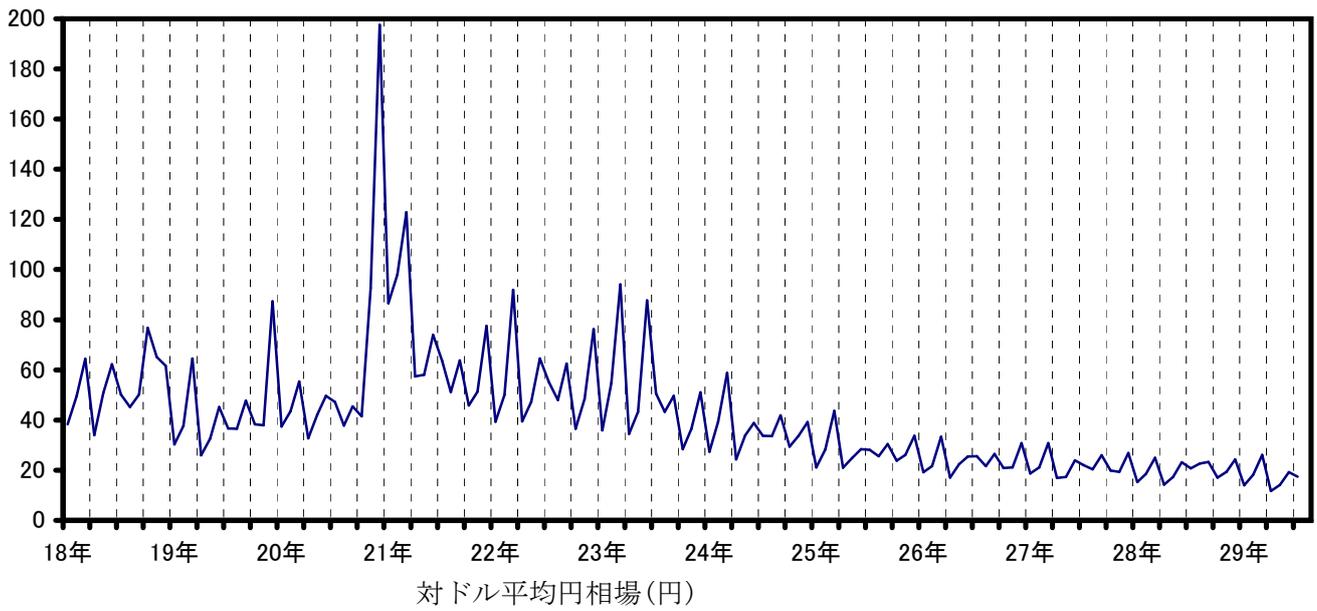
	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産件数（件）	16	18	31	23	18	23	27	21
前年同月比（%）	▲ 15.7	▲ 33.3	24.0	91.6	▲ 48.5	▲ 25.8	▲ 25.0	10.5
うち不況型倒産件数（件）	16	17	30	17	17	20	24	20
負債総額（百万円）	1,687	7,787	7,258	6,604	2,338	2,940	3,157	1,679
前年同月比（%）	▲ 46.1	164.0	150.3	287.5	▲ 73.4	▲ 42.2	▲ 62.8	▲ 18.6

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

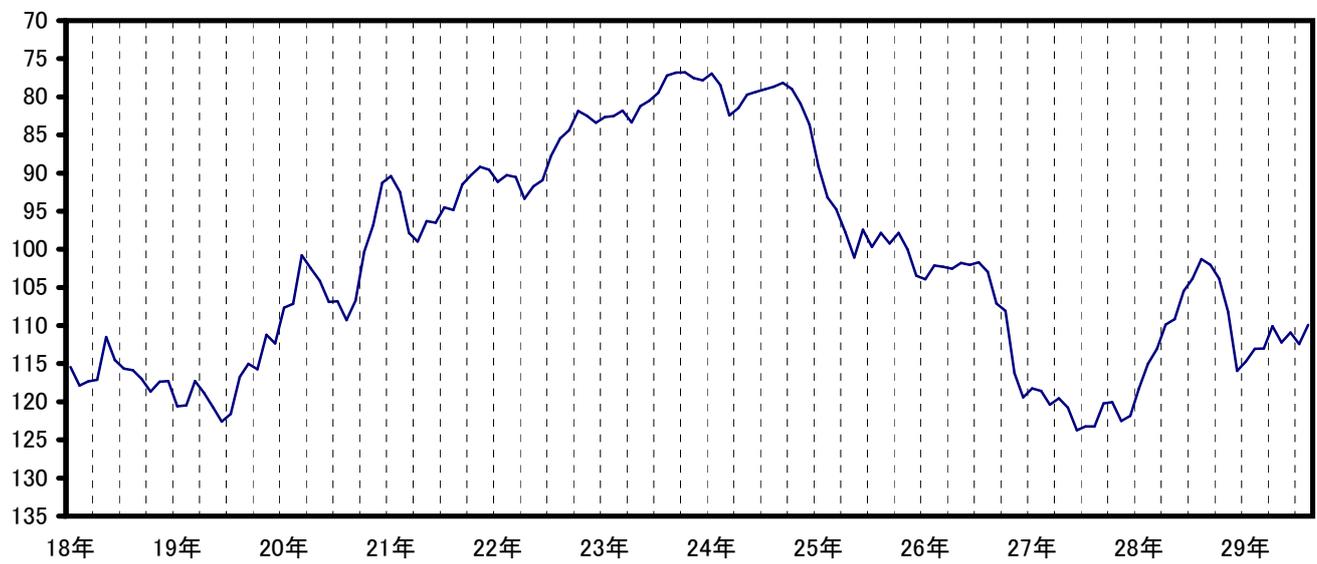
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

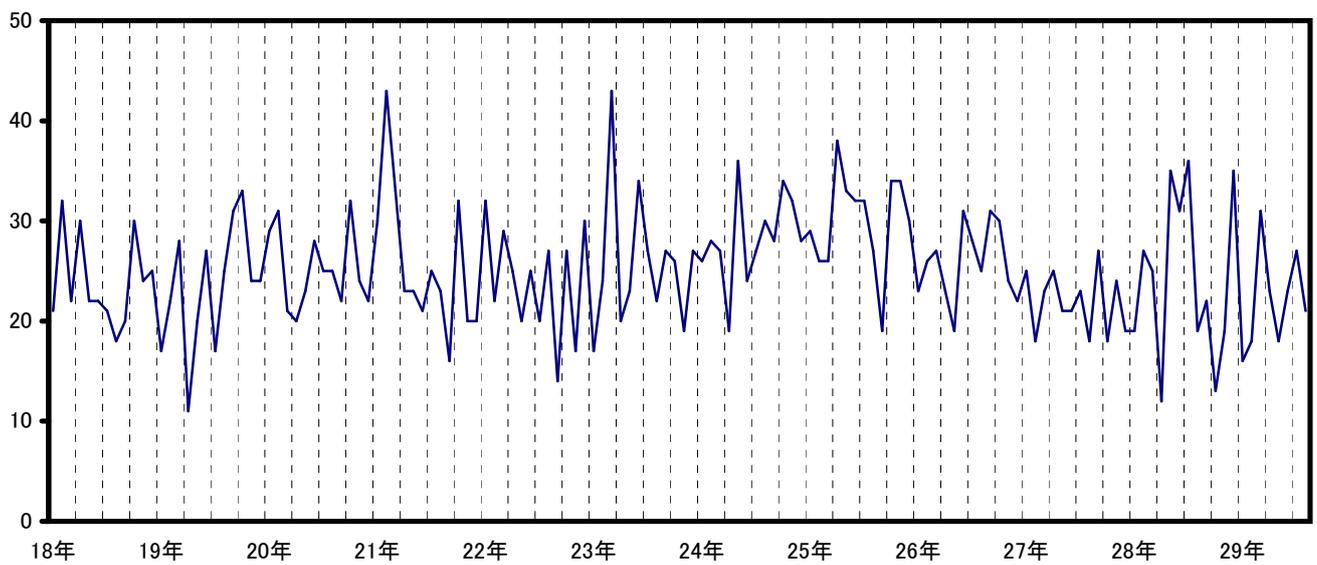


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成29年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>7月の国内二輪車生産台数は、47,267台（前年同月比 34.4%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は13,431台（同 152.1%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,686台（同 23.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,853台（同 2.6%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、24,297台（同 25.8%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,362台（同 31.7%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、29,330台（同 10.3%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>7月の自動車国内生産台数は、818,253台（前年同月比 1.4%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は410,676台（同 0.7%減）と、6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが3か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が9か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>7月の冷蔵庫の国内出荷額は、483億9,900万円（前年同月比 7.6%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は431千台（同 2.2%減）と、6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>7月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,591千台（同 3.2%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。業務用は89千台（同 4.2%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>6月の携帯電話の国内出荷台数は、1,536千台（同 13.5%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,127千台（同 5.0%減）と、6か月ぶりに前年を下回った。単月のスマートフォン比率は 73.4%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>7月の工作機械の受注総額は、1,336億5,600万円（前年同月比 28.0%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は784億3,800万円（同 47.7%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが356億2,600万円（同 68.7%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。内需は552億1,800万円（同 7.6%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「工作機械関連の仕事量が不安定なため、先が読めず不安」という声や、「半導体関連、電子部品関連業界において史上最高の売上、収益を示すところも出てきている」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>7月の県内楽器メーカーの販売金額は、47億4,000万円（前年同月比 16.8%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが28億8,600万円（同 8.0%減）、国内向けが18億5,400万円（同 27.6%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,951台（同 7.2%減）であった。機種別では、アップライトピアノが1,999台（同 7.0%減）、グランドピアノが952台（同 7.5%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,526台（同 0.4%減）、国内向けが736台（同22.4%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>7月の紙・板紙の国内出荷高は、2,066千トﾝ（前年同月比 0.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は1,084千トﾝ（同 1.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。板紙は982千トﾝ（同 3.8%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、594千トﾝ（同 1.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、137千トﾝ（同 2.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>7月の県内生産量は、食缶類が国内向け966千箱（前年同月比 5.4%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は666千箱（同 11.5%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は511千箱（同 9.0%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は300千箱（同 11.6%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,384千箱（同 1.1%減）と、7か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>7月の広幅織物の県内生産は、1,120千㎡（前年同月比 1.2%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,062千㎡（同 1.6%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、58千㎡（同 8.4%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、27千㎡（同 0.7%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>7月の全国百貨店での家具販売額は、59億6,758万円（前年同月比 1.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、558億8,874万円（同 1.8%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>7月の県内百貨店の売上高は、降雨日・真夏日の増加によるマイナス効果などにより、対前年比1.8%減と、4か月ぶりに前年を下回った。</p> <p>商品別では、化粧品及び美術・宝飾品・貴金属がともに同 9.1%増と好調だったが、主力の衣料品の不調をカバーするには至らなかった。</p> <p>なお、中元の売上は7月単月及び6～7月累計ともに前年を下回った。</p> <p>中部の食品スーパー及び県内のドラッグストアへの聞き取りでは、酒税法改正の影響により、ビール類の売上が減少していた。また、西部の食品スーパーへの聞き取りでは、商圈内で同業他社が増加していることから、景気状況はやや下向きであった。</p> <p>7月の県内商店街では、七夕にちなんだイベントが実施され、空き店舗を活用した企画の実施等により、にぎわいを見せた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約33万人で、前年同月比7.9%減となった。今年は、昨年に比べ梅雨明けが早くなったが、気温が高い日が続いたため屋外施設への入込が減少したことが一因となり、入込客数が減少したと考えられる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約77万台で、前年同月に比べて2.5%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	24,249	19,835	19,174	22,068	27,781	21,687	19,492	17,298	14,990
前年同月比(%)	40.6	6.7	▲ 5.7	▲ 3.9	22.9	3.7	16.0	4.9	▲ 10.9
KD輸出額(百万円)	719	716	712	705	651	680	635	714	772
前年同月比(%)	▲ 0.8	▲ 22.4	▲ 3.8	▲ 1.9	▲ 7.7	5.3	18.7	▲ 6.1	14.0

<楽器>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額(百万円)	3,635	3,294	3,082	3,371	3,723	3,403	3,554	3,731	3,355
前年同月比(%)	▲ 0.5	▲ 10.2	▲ 8.0	▲ 6.5	▲ 2.6	▲ 11.3	5.3	▲ 10.2	▲ 12.1

<缶詰>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高(千ケース)	970	815	825	866	996	965	888	999	966
前年同月比(%)	0.4	▲ 7.2	0.2	3.9	▲ 0.2	▲ 4.5	▲ 12.2	▲ 9.3	▲ 5.4
うち水産缶詰(%)	▲ 3.5	▲ 12.4	▲ 3.0	▲ 3.6	▲ 0.1	▲ 5.0	▲ 8.4	▲ 11.4	▲ 11.5
農畜産缶詰(%)	13.3	8.0	5.3	25.1	▲ 0.4	▲ 3.4	▲ 21.7	▲ 3.9	11.6
飲料缶生産高(千ケース)	6,641	5,985	4,933	5,761	7,254	8,148	8,392	7,969	8,384
前年同月比(%)	▲ 1.9	▲ 7.4	14.2	12.4	1.1	2.8	0.4	3.3	▲ 1.1

<繊維>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	1,693	1,694	1,563	1,379	1,321	1,338	1,170	1,137	1,120
前年同月比(%)	▲ 5.8	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 4.7	▲ 9.7	▲ 11.4	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 1.2
小幅織物(千㎡)	32	33	33	35	34	33	32	29	27
前年同月比(%)	▲ 21.3	▲ 14.4	▲ 0.2	▲ 3.9	▲ 8.7	▲ 9.7	▲ 2.8	▲ 3.3	▲ 0.7

<観光>

	28年11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
観光施設(10施設)入込 (千人)	349	280	287	268	484	507	638	366	334
前年同月比(%)	▲ 11.4	7.4	1.8	2.7	▲ 3.8	▲ 0.6	2.7	10.8	▲ 7.9
有料道路(5路線)通行量 (千台)	701	741	678	688	777	699	759	670	774
前年同月比(%)	2.1	5.6	4.7	0.9	2.4	2.2	3.6	3.1	2.5

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成29年9月号 通巻497号

発行 静岡県経済産業部
平成29年9月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>